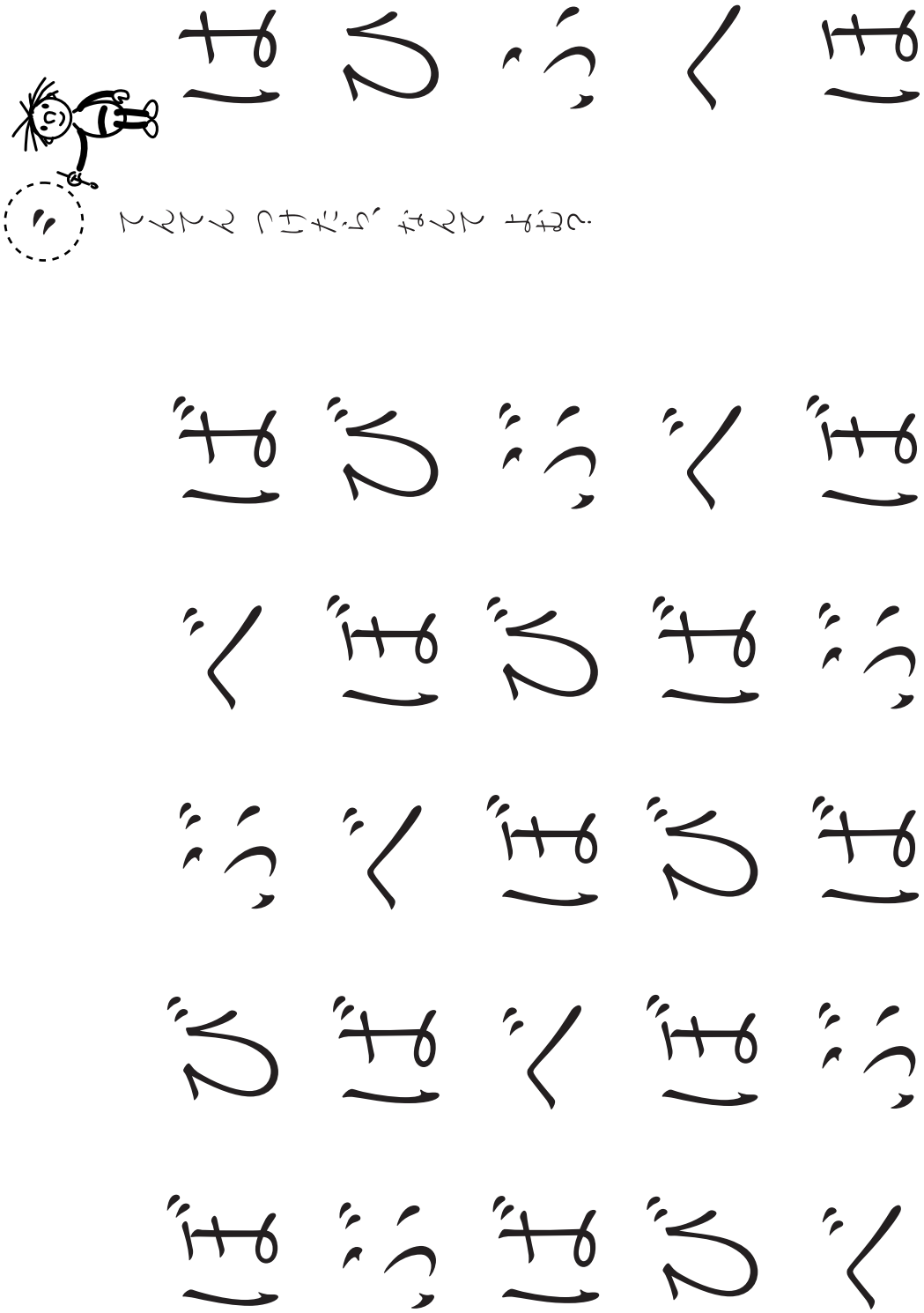

1)「はひふへほ」に濁点(てんてん)をつけるとどう読むか尋ね、教える。
2)「ばびぶべぼ」以下のラインを読ませ、間違えたらブー、成功したらピンポンとボタンを押しながら反応してやる。読めるならテンポよく反応してやるとイキイキする。

a)濁音の読み。
b)濁点を付けると濁音表記になる決まりは、が行-ざ行-だ行で体験済み。ただ、がざだ行では子音が有声音化して濁音ができるのに対し、ば行では異なる構音で濁音ができる。有声音化は、ぱ行[p]→は行[h]。

特定用具:不要